



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年8月8日

上場会社名 日本コークス工業株式会社 上場取引所 東
コード番号 3315 URL <https://www.n-coke.com/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松岡 弘明
問合せ先責任者 (役職名) 人事・総務部長 (氏名) 奥苑 隆幸 TEL 03-5560-1311
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	24,243	△5.9	△740	—	△808	—	△1,159	—
2025年3月期第1四半期	25,765	△32.6	△357	—	△774	—	△720	—

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 △1,090百万円 (—%) 2025年3月期第1四半期 △731百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	△3.98	—
2025年3月期第1四半期	△2.48	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	131,471	40,509	30.8
2025年3月期	130,630	41,600	31.8

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 40,509百万円 2025年3月期 41,600百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

(注) 2026年3月期の配当については未定です。配当予想額の開示が可能となった時点で速やかに開示する予定です。

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	49,000	2.8	30	—	△400	—	△900	—	△3.09
通期	99,000	0.0	2,700	—	1,700	—	200	—	0.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結業績予想の修正については、本日（2025年8月8日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期1Q	302,349,449株	2025年3月期	302,349,449株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	11,325,977株	2025年3月期	11,325,681株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期1Q	291,023,644株	2025年3月期1Q	291,025,003株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	8
(会計方針の変更に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善による、緩やかな回復がみられる一方、米国の通商政策などによる原材料価格の変動や海外経済の下振れリスクに加えて、物価上昇の継続による消費者マインドの悪化が、景気を下押しするリスクのある中で推移しました。

このような状況のもと、当社グループのコークス事業においては、2024年12月に発生した当社北九州事業所における火災事故の反省に立ち安全最優先の考えの下、業績回復と火災により劣化した財務内容の改善に総力を挙げて取り組む方針で今年度をスタートしました。

① 安全操業について

まず、安全操業に関しては火災の再発防止策として、火災発生個所である化成工程のガス管を1系列追加し、完全2系列化する工事を計画的に実施してまいります。また、火災防止を重点項目とした社内・協力会社への再教育の実施、工事発注に関する仕様書や計画書、指示書に至るまで、火災防止の視点で内容を見直すなど徹底してまいります。

② 業績回復に向けた取組と現況

コークス事業の製造面においては、昨年竣工した新鋭2A炉と安定稼働が見込める1A炉を中心とする運営方針としました。結果、当第1四半期における生産量は毎月100千トン前後で安定推移しており、年間の生産計画を達成できる水準となっています。また、操業安定化により、原材料調達や副産物の生産も計画通りに行うことができ、加工費等の製造原価低減の効果が始まっております。

前年度に苦戦の主因となった老朽2炉団については、従来の全面復旧を前提とした運営方針を大きく転換、年度計画当初から、メリハリの効いた修繕やリソース配分の下で従来以上にコスト削減を優先した運営を行っております。その結果、年度を通じた修繕費等は大きく削減できる見通しです。

上述の取組から、供給に係るお客様の懸念を払拭しつつあり、今後も安定操業の継続、品質の維持により更なる信頼獲得に努めてまいります。

また、新たなビジネス創出の試みとしては、CCVD（触媒気相蒸着）技術を活用した炭素材製造に係る研究開発において、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）より一部助成金が交付されるなど、将来に向けた研究開発も着実に進めております。

しかしながら、これまでの継続的な市況下落の局面で火災により生産量が大きく落ち込んだ影響は大きく、当第1四半期においては過去に調達した割高な原料在庫を使わざるを得なかったこと、更には人手不足や資材高騰の影響もありコスト削減策の実現が一部後ずれしたこと、収益面での回復は道半ばとなっており、引き続き業績回復に向けて注力してまいります。

コークス事業以外の各事業については、環境変化に応じつつ安定的な収益を目指す方針です。燃料・資源リサイクル事業においては、顧客の燃料転換へ向けた動きに応じつつ、港湾設備と石炭備蓄ヤードを私有する対他社優位性や、総合エンジニアリング事業におけるニッチ分野での専門性を活かした事業展開により、当連結会計年度においても当社グループ全体の事業ポートフォリオを下支えしてまいります。

このような取組の下、当第1四半期連結累計期間の連結売上高は、前年同期比15億2千2百万円減少の242億4千3百万円、連結営業損益は、7億4千万円の営業損失（前年同期は3億5千7百万円の営業損失）、連結経常損益は、8億8百万円の経常損失（前年同期は7億7千4百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純損益は11億5千9百万円の純損失（前年同期は7億2千万円の純損失）となりました。

（セグメントの概況）

コークス事業につきましては、前述の理由などにより、売上高は、前年同期比4億1千2百万円減少の158億2千7百万円、営業損益は、14億1千4百万円の営業損失（前年同期は10億5千万円の営業損失）となりました。

燃料・資源リサイクル事業につきましては、売上高は、前年同期比15億6千5百万円減少の56億1百万円、営業利益は、前年同期比1億5千3百万円減少の6億8千4百万円となりました。

総合エンジニアリング事業につきましては、売上高は、前年同期比3億6千4百万円増加の18億6千万円、営業利益は、前年同期比2億2千9百万円増加の3億6千万円となりました。

その他につきましては、売上高は、前年同期比9千万円増加の9億5千4百万円、営業利益は、前年同期比7千1百万円減少の9千万円となりました。

（2）当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、1,314億7千1百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億4千1百万円増加となりました。増減の主なものは、機械装置及び運搬具の増加19億2千9百万円、現金及び預金の増加3億1千8百万円、建設仮勘定の減少12億7千1百万円等であります。

当第1四半期連結会計期間末の負債は、909億6千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ19億3千1百万円増加となりました。増減の主なものは、支払手形及び買掛金の増加81億8千1百万円、短期借入金の減少58億1千8百万円等であります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、利益剰余金の減少などにより、前連結会計年度末に比べ、10億9千万円減少の405億9百万円となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期中間期および2026年3月期通期の連結業績予想につきましては、本日（2025年8月8日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,109	5,428
受取手形、売掛金及び契約資産	12,879	12,984
商品及び製品	12,102	11,190
仕掛品	1,583	1,717
原材料及び貯蔵品	13,450	13,725
その他	829	1,076
流動資産合計	45,955	46,121
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	25,358	25,491
減価償却累計額	△17,220	△17,395
建物及び構築物（純額）	8,138	8,095
機械装置及び運搬具	120,441	123,563
減価償却累計額	△85,406	△86,599
機械装置及び運搬具（純額）	35,034	36,963
土地	33,567	33,537
建設仮勘定	2,573	1,302
その他	2,772	2,900
減価償却累計額	△1,816	△1,873
その他（純額）	956	1,027
有形固定資産合計	80,270	80,925
無形固定資産		
その他	707	698
無形固定資産合計	707	698
投資その他の資産		
投資有価証券	1,292	1,380
繰延税金資産	1,599	1,504
その他	846	882
貸倒引当金	△41	△41
投資その他の資産合計	3,697	3,726
固定資産合計	84,675	85,350
資産合計	130,630	131,471

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,564	15,745
短期借入金	32,929	27,110
未払法人税等	286	87
賞与引当金	703	492
関係会社整理損失引当金	344	344
受注損失引当金	406	238
その他	5,938	6,139
流動負債合計	48,173	50,158
固定負債		
長期借入金	32,887	32,867
退職給付に係る負債	3,102	3,100
役員退職慰労引当金	48	35
環境対策引当金	3,989	3,978
その他	829	821
固定負債合計	40,857	40,803
負債合計	89,030	90,962
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,000	7,000
資本剰余金	1,750	1,750
利益剰余金	33,769	32,610
自己株式	△1,209	△1,209
株主資本合計	41,309	40,150
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	460	520
繰延ヘッジ損益	0	△1
退職給付に係る調整累計額	△170	△159
その他の包括利益累計額合計	290	359
純資産合計	41,600	40,509
負債純資産合計	130,630	131,471

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	25,765	24,243
売上原価	24,494	23,284
売上総利益	1,271	959
販売費及び一般管理費	1,629	1,699
営業損失(△)	△357	△740
営業外収益		
受取利息	1	5
受取配当金	13	21
助成金収入	1	158
その他	16	53
営業外収益合計	33	239
営業外費用		
支払利息	85	216
その他	364	90
営業外費用合計	450	307
経常損失(△)	△774	△808
特別利益		
固定資産売却益	15	49
その他	5	0
特別利益合計	21	49
特別損失		
固定資産除却損	242	237
その他	0	2
特別損失合計	242	240
税金等調整前四半期純損失(△)	△995	△998
法人税、住民税及び事業税	31	79
法人税等調整額	△306	81
法人税等合計	△274	160
四半期純損失(△)	△720	△1,159
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△720	△1,159

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純損失(△)	△720	△1,159
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△17	60
繰延ヘッジ損益	△0	△1
退職給付に係る調整額	7	10
その他の包括利益合計	△11	69
四半期包括利益	△731	△1,090
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△731	△1,090
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	1,140百万円	1,511百万円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2024年4月1日 至2024年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計額	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	コークス事業	燃料・資源リ サイクル事業	総合エンジニ アリング事業	計				
売上高								
(1)外部顧客への 売上高	16,239	7,166	1,496	24,902	863	25,765	—	25,765
(2)セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	2	439	441	68	509	△509	—
計	16,239	7,169	1,935	25,343	931	26,275	△509	25,765
セグメント利益又は 損失(△)	△1,050	837	131	△81	162	80	△438	△357

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運輸荷役事業、不動産販売・賃貸事業等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失の調整額△438百万円は、セグメント間取引消去1百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△439百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2025年4月1日 至2025年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計額	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	コークス事業	燃料・資源リ サイクル事業	総合エンジニ アリング事業	計				
売上高								
(1)外部顧客への 売上高	15,827	5,601	1,860	23,288	954	24,243	—	24,243
(2)セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	2	614	617	89	707	△707	—
計	15,827	5,603	2,475	23,906	1,044	24,950	△707	24,243
セグメント利益又は 損失(△)	△1,414	684	360	△369	90	△278	△461	△740

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運輸荷役事業、不動産販売・賃貸事業等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失の調整額△461百万円は、セグメント間取引消去△13百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△447百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。